

フォトエッセイ # 220

# 五稜郭ちょっと散歩

横浜に帰る前日の夕方  
なんとなく物足りない気分

あ そうか  
五稜郭に行っていなかった！！！！

2025.10.21  
島田祥生



今回は真直ぐ正門へ

あ  
秋っぽくなっています



中に入って  
土手の上からの眺め

手前のどうだんつつじも色付いて  
夕方です  
訪れる人が目につきます

ところでこのお城  
攻め難いですかねえ

A photograph showing a stone wall and a bridge. On the left, a steep stone wall with large, rectangular blocks rises. To the right, a bridge with a wooden railing spans a grassy area. In the background, there are trees and a clear sky. The text is overlaid on the lower left portion of the image.

二の橋を渡って「城内」に

返しのついた高い石垣

ここは登る気にはならないでしょうね

A photograph of a stone wall at a Japanese castle. The wall is made of grey stones and has a mossy path running down its side. In the background, a person in a green jacket and white hat is walking on a path. The area is surrounded by lush green trees and bushes.

今の石垣を  
土手の上から

狙い撃ちされたら  
ひとたまりもないでしょう

A scenic view of a town, likely in Japan, featuring a river in the foreground, a bridge, and various buildings in the middle ground. The background is dominated by a range of mountains under a cloudy sky. The foreground is a grassy slope with some trees. The text is overlaid on the bottom left of the image.

こちらは裏門  
なんとなく  
「のどか」です



橋を渡って  
「城内」を眺めています  
石垣が低い



こちらから攻められたら  
ひとたまりのなさそう

設計施工責任者だった  
武田斐三郎さんには悪いのですが  
「作ったよ」って感じ



この石垣は見事です  
石工が腕の見せ場と  
門を入れてすぐのところに

これは彼等の心意気ですね



裏門の石垣を抜けると  
広場に  
なんとなくノドカ

実は工事費が切迫し  
防御力を小さくしたのだという  
噂が



再建された「箱館奉行所」にも古色が

あの物見台が  
新政府の軍艦の艦砲射撃で碎かれて意気消沈したとか  
軍艦から丸見えだったそうです



雁皮山が見下ろす堀  
いつもながら鴨が

ん  
堀の水位が下がっている



裏門の橋から見た堀  
と言いか堀の底  
水が完全に抜けています

冬に備えてのこのようです



堀の推移を調整する水門  
何故か正門のすぐそばにあります

敵がこの板を抜いたら・・・  
なんて想像してはいけないよ

因みに  
裏門近くに  
近くの亀田川から水を引き入れるところがあります



イタヤカエデのこの赤さ

秋が  
深まっているのですね



堀と  
タワーと  
函館山  
もう一つ秋の雲

あ もう一つ  
桜の並木



もう一度  
正門の二の橋を渡る人の姿  
見飽きた景色なはずですが  
見飽きないですねえ

遠くに見える横津岳も  
そろそろ白くなるでしょう

A photograph of a flock of birds, likely ducks, flying in a cloudy sky. The birds are silhouetted against the lighter clouds. The sky is filled with soft, white and grey clouds. In the foreground, there are dark, silhouetted trees and foliage. The overall mood is serene and natural.

鴨が  
群れをなして飛んでいます・・・

ただ それだけの景色です



裏門近くの土手の上  
暮れ行く中を・・・

なんとなく気に入って  
シャッターを押しました

## 五稜郭のお話

### ★築城経緯

- ・ 安政元年（1854）の日米和親条約により箱館開港
- ・ 北方の脅威に対抗するため松前藩から幕府直轄に
- ・ 奉行はこの地の警備のため、城と砲台の構築を献策
- ・ 当時の軍艦の射程距離は4 kmを超えていたが、  
水利・予算等の制約から海岸から3 kmの亀田村に
- ・ 安政4年（1857）武田斐三郎の献策で洋式城郭着工
- ・ 総工費14万両 20年分割調達のつもりであった
- ・ 石垣に使った石は、函館山の西斜面の安山岩

### ★榎本軍が占拠

- ・ 明治元年（1869）榎本釜次郎の旧幕府脱走軍が占拠
- ・ 土方歳三が合流
- ・ 新政府軍の軍艦甲鉄艦の艦砲射撃が物見台に命中
- ・ 榎本釜次郎（武揚）軍降伏
- ・ 奉行所の建物は、縁起が悪いと解体して札幌へ

引用：函館五稜郭 成美堂出版



### 五稜郭図

(資料による箱館戦争当時の想定図)

|       |         |           |
|-------|---------|-----------|
| 設計・監督 | 武田斐三郎   |           |
| 総面積   | 74,990坪 | 約247,466㎡ |
| 郭周囲   | 1,900間  | 約3,455m   |
| 土塁の高さ | 21尺     | 約6m       |
| 堀の巾   | 20間     | 約36m      |
| 堀の深さ  | 18尺     | 約5.4m     |
| 総工費   | 14万両    | 換算不明      |



夕日を浴びて  
城内から出てきたお二人

秋の気配も迫っています